

6 プロポリス加工食品『レモンバームポリス™』液のアレルギー性疾患患者に対する臨床効果について

○長岡由憲（松井病院食養内科）、八並 一寿
福田 栄一（玉川大学農学部農芸化学科）

〔目的〕 シソ科ハーブのレモンバーム（和名：セイヨウヤマハッカ、別名：メリッサ）は、極めて強いヒアルロニダーゼ阻害活性を有することから、抗アレルギー効果が期待出来る。またプロポリスにもヒアルロニダーゼ阻害活性や肥満細胞からのヒスタミン遊離阻害作用が報告されている。そこでレモンバームエキスを配合したプロポリス加工食品『レモンバームポリス™』液の、アレルギー性疾患患者に対する臨床効果を検討した。

〔材料〕 高濃度の新鮮レモンバームエキスを配合した、ブラジル産プロポリス加工食品『レモンバームポリス™』液（株）クワポリス製を使用した。

〔方法〕 レモンバームポリス™液（30ml）を、アレルギー疾患患者5名（アレルギー性鼻炎3例、アトピー性皮膚炎1例、気管支喘息1例）に一日3回1スプーンずつを食事とともに摂取してもらった。

〔成績〕 症例1（アレルギー性鼻炎）：30ml×4本服用後、症状が軽減。症例3（アトピー性皮膚炎）30ml×4本服用後、痰と鼻水が軽減。飲用前→飲用後；非特異的Ig-E（IU/ml）：7310→6710、すぎ（UA/ml）：26.89→23.08 症例4（アレルギー性鼻炎）：服用中より主訴が軽減、30ml×4本服用後一時中断、症状出現のため30ml追加時症状が軽快。非特異的Ig-E：13→16、ハウスダスト1（UA/ml）：0.41→0.34以下となった。

〔結論〕 5例のうち3例のアレルギー性鼻炎の共通点である鼻水、鼻づまり、頭がさえない、目がすっきりしない等の改善が見られた。症例4において服用終了したところ、上記症状が出現したため1本追加して飲んでもらったところ、症状は軽快した。レモンバームポリス™液服用は、明らかに臨床的効果があったと判断出来そうである。今後は、もう少し長期服用した症例について、あらゆる角度からの効果判定が必要と思われる。